

2023 年度 自治体学会事業報告（案）

I 第 37 回自治体学会川崎大会の開催

第 37 回自治体学会川崎大会は、4 年ぶりとなる対面方式で、現地での開催となった。

第 37 回自治体学会に先立ち、8 月 25 日（金）に、第 36 回全国自治体政策研究交流会議が開催された。

今回は堺大会に引き続き、政策研究交流会議のあとに、連携を深める観点から、自治体学会の研究発表セッションを開催した。その後の情報交換会は、自治体学会の主催で実施し、その冒頭で自治体学会賞表彰式を行った。

開催概要等は下記の通りである。

1 開催概要

- ① 日 時：2023 年 8 月 25 日（金） 16:45～18:15 18:45～20:00
 26 日（土） 9:30～15:45
- ② 会 場：川崎市スポーツ・文化総合センター（カルッツかわさき）及び川崎市教育文化会館
 但し 25 日の学会賞表彰式・情報交換会は、川崎商工会議所会議室。
- ③ テーマ：神奈川・川崎から問う 自治・地域の未来
- ④ 参加者：約 250 人

大会では、研究発表セッション、分科会、ポスターセッション、自治体学会賞表彰式・情報交換会、エクスカッション、および評議員会、総会を実施した。

また、大会に先立ち、エクストラセミナーを実施した。

2 大会の概要

8 月 25 日（金）

（1）研究発表セッション （16:45～18:15）

セッションA	文化とまちづくり	発表 3 件
セッションB	自治体と職員	発表 2 件
セッションC	地域活性化	発表 3 件
セッションD	災害	発表 2 件
セッションE	共生	発表 3 件
セッションF	法と政策	発表 3 件
セッションG	参加・協働	発表 2 件

（2）自治体学会賞表彰式・情報交換会 （18:45～20:00）

- ・田村明まちづくり賞：2 件、研究論文賞：2 件、自治体学研究奨励賞：3 件
 ※受賞者はⅢ-3 で紹介
- ・情報交換会には約 120 名参加。

8月26日(土)

(3) 分科会 (午前の部 10:30~12:30 午後の部 13:45~15:45)

分科会1 「デジタル田園都市国家構想」とのつきあい方

分科会2 コミュニティのありたい姿と支える自治体政策

~持続可能な地域社会づくりに向けて~

分科会3 自治体職員による本来業務以外の活動について考える Part2

分科会4 社会的価値を反映させた公共調達の可能性~人権尊重の対応を契機として~

分科会5 地方公務員の定年延長と役職定年制を考える

~組織活力低下の危機にどう向き合うか~

分科会6 地域公共交通(ローカル鉄道)の再編における分権と自治

分科会7 少子高齢化・人口減少時代の「創造都市・創造農村」

分科会8 (地元企画) 子どもの権利条例と子どもを取り巻く「いま」

分科会9 (公募企画) 議会からの政策立案を進めるには

~執行部と議会はどうか協働するか~

(4) ポスターセッション (26日 10:00~16:00)

参加団体による展示及び資料の配布を通して参加者が交流・意見交換をできる場として開催。

参加団体: 18団体

(5) エクスカーション

26~27日 Aコース 川崎臨海部の変貌、工場夜景とキングスカイフロント、多文化共生のまちづくりコース

27日 Bコース 三浦半島の「小網代(こあじろ)の森」を歩く!源流から海までまるごと保全された生態系を体験するコース

(6) 企画部会分科会のエクストラセミナーの実施

第37回自治体学会大会の開催に向けて、分科会の内容を、より意義深いものにするため、各分科会のエクストラセミナーを下記の通り、オンライン会議で開催した

・分科会1 7月12日(水)(19:30~21:30)

・分科会2 7月21日(金)(20:00~21:30)

・分科会3 7月5日(水)(19:00~21:00)

・分科会5 7月2日(日)(19:00~21:00)

・分科会6 7月24日(月)(19:00~20:00)

(7) 大会の詳細

大会の詳細は、学会誌37-1号(2023年12月発行)に記載。

II 総会・評議員会・理事会・部会等の開催

学会の運営等に関して各会議を開催した。

1 総会

2023年8月26日(土)9:30~10:15に、「カルッツかわさき」1階大会議室で開催した。

2022年度事業報告案、2022年度決算報告案、2023年度事業計画案、2023年度収支予算案及び中期事業計画見直しの考え方(案)については、原案のとおり承認された。なお、決算については、監事より概ね適切

に処理されているものの、会員相互の情報共有の重要性、基金のあり方、学会役員におけるジェンダー平等に取り組むことなどの指摘があった。

報告事項として、2023 年度当初に設置された魅力向上方策検討委員会及び情報発信方策検討委員会の状況報告、および企画部会、編集部会、地域支援部会、総務部会の報告があった。

なお、2024 年度の大会開催地については未定のため、決定次第お知らせする旨の報告があった。

2 評議員会

(1) 第 1 回評議員会

2023 年 8 月 25 日（金）12:30～13:30 に、川崎市教育文化会館大会議室で開催した。

2022 年度事業報告案、2022 年度決算報告案、2023 年度事業計画案、2023 年度収支予算案及び中期事業計画見直しの考え方（案）が協議され、原案のとおり総会に提案されることとなった。なお、監事より、監査意見として、会員相互の情報共有の重要性、基金のあり方、学会役員におけるジェンダー平等に取り組むことなどの指摘があった。

(2) 第 2 回評議員会

2024 年 3 月 10 日（日）10:00～12:00 に、オンライン会議により開催した。

2023 年度事業報告案、2023 年度決算報告案、2024 年度事業計画案、2024 年度収支予算案及び役員推薦委員会の設置案の協議。

魅力向上方策検討委員会、情報発信方策検討委員会の報告と協議。

学会賞委員会からの報告提案事項についての協議。

各部会からの報告と協議。

3 理事会

(1) 第 1 回理事会

2023 年 4 月 23 日（日）19:30～21:00 に、オンライン会議で開催した。

学会の諸課題の検討について検討した。

- ・魅力向上方策検討委員会と情報発信方策検討委員会について、委員長の選任と委員の検討。
- ・大会のあり方についての検討チームをスタート

(2) 第 2 回理事会

2023 年 7 月 30 日（日）14:00～17:00 に、学会事務所会議室及びオンライン会議で開催した。

総会提出議案について協議、検討した。各部会からの報告がなされた。

(3) 第 3 回理事会

2023 年 9 月 18 日（月・祝）19:30 より、オンライン会議で開催した。

日本学術会議との共催シンポジウムの開催について協議した。二委員会、各部会、学会賞委員会報告がなされた

2024 年度の大会開催地について検討した。

(4) 第 4 回理事会

2024 年 2 月 18 日（日）19:00 より、オンライン会議で開催した。

評議員会提出議題について協議、検討した。二委員会、各部会、学会賞委員会からの報告がなされた。事務局より事務所書類、書籍等についての整理状況を報告し、書類の PDF 化について提案された。

4 企画部会

川崎大会の開催内容の協議、検討。

- ① 2023年5月21日(日) 於：カルッツかわさき 大会議室
- ② 2023年8月22日(火) 於：オンライン会議
- ③ 2023年8月25日(金) 於：カルッツかわさき 大会議室

鹿児島・日置大会の企画内容について協議検討。

- ① 2023年12月9日(土) 於：九州大学東京オフィス オンライン併用
- ② 2024年2月3日(土) 於：日置市市庁舎会議室
- ③ 2024年2月10日(土) 於：九州大学東京オフィス オンライン併用
- ④ 2024年2月17日(土) 於：オンライン会議
- ⑤ 2024年2月26日(月) 於：日置市とのオンライン会議
- ⑥ 2024年3月10日(日) 於：オンライン会議

参考(川崎大会の企画内容について協議検討。2022年度中)

- ① 2022年11月23日(水) 於：オンライン会議
- ② 2022年12月24日(土) 於：オンライン会議
- ③ 2023年1月29日(日) 於：オンライン会議
- ④ 2023年2月12日(日) 於：川崎市教育文化会館 オンライン併用
- ⑤ 2023年3月26日(日) 於：九州大学東京オフィス オンライン併用

5 編集部会

学会誌の発行内容について協議、検討し、編集した。また、大会において学会誌を販売した。

- ① 2023年5月25日(木) 於：オンライン会議
- ② 2023年7月3日(月) 於：オンライン会議
- ③ 2023年8月3日(木) 於：オンライン会議
- ④ 2023年10月10日(火) 於：オンライン会議
- ⑤ 2023年11月16日(木) 於：オンライン会議

6 地域支援部会

メーリングリスト上で、次の事項について随時協議、検討し、決定した。

自治体学会自治立志塾(集中講義)の企画開催の内容を確定し、開催に向けて準備を進めた。

新規事業である「地域と研究者等を結ぶ 自治体学会マッチング事業」について、HPに掲載するとともに、メーリングリストでお知らせした。

7 研究支援部会

投稿論文に関して、投稿の促進を行うとともに、査読・修正・採否・学会誌での取扱い等について、メールを活用しながら審議を進めた。

- ① 2023年9月1日(金)～24日(日) 査読結果をもとに論文審査。前期掲載論文の決定。
17件応募(再3件)。4件掲載。

- ② 2024年1月18日（木）～31日（水） 査読結果をもとに論文審査。後期掲載論文の決定。
5件応募（再2件）。2件掲載。

8 総務部会

資料作成、経理等の学会事務をサポートするとともに、会員管理、メーリングリスト・ホームページ管理の在り方について検討を行った。中期事業計画見直しの考え方（案）について検討し、総会に諮った。
また、総会、評議員会、理事会に同席し、議事録を作成した。

9 学会賞委員会

第13回自治体学会賞の審査を行い、表彰者を決定した。

- ① 2023年6月11日（日） 於：オンライン会議
② 2023年7月23日（日） 於：学会事務所会議室

10 魅力向上方策検討委員会

自治体学会の魅力の再構築と魅力が伝わる情報発信の見直しのため、10名の委員からなる委員会を発足し、8回のオンライン会議を重ね、検討を進めた。魅力向上のために、会員に対しアンケートを行うことを決めた。

11 情報発信方策検討委員会

学会のHPへの掲載基準や学会の情報発信方策の検討のため、10名の委員からなる委員会を発足し、9回のオンライン会議を重ね、検討を進めた。この間、試行的に「フェイスブック」「X（旧ツイッター）」を用いた情報発信を行うとともに、2月23日（金）にオーサートークを実施した。

Ⅲ 実施事業

1 自治体学会川崎大会の開催

再掲（Iを参照）

2 学会誌の発行

- ① 学会誌37-1号、1,500部を発行し（2023年12月）、全会員及び関係機関に配布した。
掲載内容：川崎大会における、分科会、研究発表セッション、特別企画、ポスターセッション、学会賞等を報告。研究ノートに掲載。
- ② 学会誌37-2号、1,400部を発行し（2024年3月）、全会員及び関係機関に配布した。
掲載内容：特集「追悼：大森彌先生」。クローズアップ自治体学。研究ノートに掲載。

3 学会賞の授与

2023年8月25日（金）に開催された自治体学会川崎大会において、学会賞を下記の方々に授与した。

○田村明まちづくり賞

*受賞者：新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム

対象活動：文化・芸術が息づく街、新百合ヶ丘の活性化を目ざす、地域の多様な主体が参画する

まちづくり活動

*受賞者：むらかみ町屋再生プロジェクト

対象活動：村上城下町における古民家再生を中心とした地域活性化のための多様な活動

○研究論文賞

*受賞者：北村喜宣

対象著書：空き家問題解決を進める政策法務－実務課題を乗り越えるための法的論点とこれから－

*受賞者：礪崎初仁

対象著書：地方分権と条例－開発規制からコロナ対策まで

○自治体学研究奨励賞

*受賞者：韓旖睿、池邊このみ、白琳、孫冰玉

対象論文：地域の景観・文化資源としての雪形に関する研究－主に雪形への住民意識と
地方自治体における観光利活用等の現状調査－

*受賞者：高木超

対象論文：SDGsの主流化に向けた先行自治体の政策過程分析－北海道下川町の総合計画策定を
事例として－

*受賞者：安藤加菜子

対象論文：大学奨学金についての市町村の役割－鳥取県・島根県の市町村事例を中心に－

4 研究活動への支援

会員の研究活動への支援（投稿論文の査読）。

○投稿論文の査読を実施し、掲載論文を決定した。

前期分（37-1号掲載） 投稿数 17件 掲載論文（研究ノート4件）

後期分（37-2号掲載） 投稿数 5件 掲載論文（研究ノート2件）

○研究発表セッションの開催

川崎大会における研究発表セッションでの研究発表 発表：18件

5 情報の収集と発信

○ホームページによる情報提供

事業に関する情報発信を随時行った。

○情報の収集・提供

学会員の提供情報に基づき最新情報の収集・提供をした。

日本学術会議が公表する情報を会員に提供した。

○新たな交流手段

試行的に、「フェイスブック」「X（ツイッター）」を始めた。

○会員相互の情報交流

メーリングリストを運用し、会員間の情報交換を進めた。

6 地域活動への支援

① 北海道自治体学会政策シンポジウム2023 「地域共生社会と福祉のまちづくり」

オンライン研究会－ポストコロナの自治－

*申請者：北海道自治体学会（承諾評議員：安田あきの）

*開催日・会場：2023年6月3日（土）、かでの2・7（札幌市）

開催日・会場：2023年6月～2024年1月（全8回）

② 2023自治体学会川崎大会プレフォーラム 「再考 地域における自治のかたち」

*申請者：自治体学会川崎大会地元実行委員会（承諾評議員：久保真人）

*開催日・会場：2023年5月20日（土）、カルッツかわさき

③ 東海自治体学研究会「今さら聞けない自治体財政 何がどうなっているのか ～新公会計を中心に～」

*申請者：東海自治体学会（承諾評議員：中野有美）

*開催日・会場：2023年7月1日（土）、ウインクあいち

④ 近畿自治体学会

*申請者：近畿自治体学会フォーラム in 福知山（承諾評議員：田中優、竹山和弘）

*開催日・会場：2024年3月23日（土）

7 共催事業の実施

- 公開シンポジウム「自治体と総合性～分権国会決議30年～」を、日本学術会議政治学委員会行政学・地方自治分科会と共催して開催した。

*開催日・会場：2023年9月23日（土）、オンライン会議による

*参加者数：約100名

IV 事務局運営

2014年4月1日から、東京都千代田区神田錦町2-1に事務局を移転し、直営で学会事務を行っている。その後、事務所は、2019年6月1日から、千代田区神田司町2-19 司3331 202号室に移転、さらに、2020年4月1日から、千代田区神田美土代町3-4 ニュー楓ビル8階に移転し、現在に至っている。

事務局には、専従者1名（勤務日数：年間80日間程度）を含む3名を置き、総務部会員の協力を得て理事会との連携協力のもと事務局を運営した。

事務局の具体的な事務内容は、会員管理及び会計処理のほか、各部会の事務処理、総会・大会開催時の事務処理等である。また、事務局メンバーの自宅倉庫に保管していた書類、学会誌は不要なものについて処分し、倉庫を引き払い、事務局近くに、トランクルームを借りた。